

## 8つのビジョン!議会はどう見た?

### ⑦ 歴史と文化に誇りを持った観光都市としての発信

具体的に何をやる?

- 「春はつやま」のキャッチフレーズのもと、春の観光プログラムを作り上げる
- 農泊・城泊事業や県内で唯一国から認められた食文化海外発信事業に取り組む
- 音楽、舞台公演、創作展示等を行う「(仮称)津山総合芸術文化祭」の開催に向け、検討を進める

議会での声

**問** 産業文化部から分離し、観光文化部を新たに設置する意図は?

**答** 今後の地域活性化に向けては、地域経済回復と成長、また歴史・文化を活かした観光都市としてのまちづくりを一層推進していく必要がある。

そのために、産業文化部を商工業等の業務を行う産業経済部と、観光や歴史・文化の業務を担う観光文化部とに分離再編し、きめ細やかで効果的な取組をさらに強力に進めていく。



歴史・文化を活かした観光まちづくりを!

### ⑧ 行財政改革の断行と効率的な行政運営

具体的に何をやる?

- 公民連携による取組を進め、「活性型の行財政改革日本一」を目指す
- 住民サービスの維持向上を図りながら、職員の働き方改革を推進
- 企業版ふるさと納税を通じて、関わりを持つ企業の増加に努める

議会での声

**問** 行財政改革について、2期目への思いと改革に向けての強い姿勢を市長に示していただきたい。

**答** 経費削減を目的とする減量型の行革はもとより、民間活力の導入を通じた「活性型」の行革が重要と考えている。これまでは、ガラスハウスリニューアル事業などで、公民連携の手法を先駆的に取り入れ、収益事業への転換を行ってきた。引き続き、財政基盤の安定化に向け、行財政改革に取り組んでいく。



民間活力導入で、リニューアルされたガラスハウス(現グローブスポーツドーム)

市政のあり方を問う!

## 一般質問

一般質問とは

議員が市の行政全般について、市長など執行機関に方針や疑問点を質問するものです。詳細は津山市議会ホームページの「会議録検索」などでもご覧いただけます。(9月定例会初日に公開予定)

また、各議員の二次元バーコードをスマートフォンなどで読み取ると、質問の様子(録画映像)を見ることができま

### 市長の施政方針

未来  
政岡哲弘



**高い住民意識醸成のための人づくり**

**問** 市長の2期目の所信でも掲げられている人づくりとは。

**答** 地元の企業や先輩、地域での取組を支援することにより児童生徒をはじめ、関わる人全体に住民意識の高揚が拡がることを認識している。

**市民の生活と財産を保全するための施策実施**

**問** 先頃起きた、エコ商

事の火災には、そこに至るまでに多くの課題があつたのではないかと。主に事業の許可権限は岡山県であるので、その事業の申請、届出などに関し、県をはじめ関係機関等との情報共有や連携を図ってきたい。



市長が考える住民意識の醸成とは?

### 子どもの学習・生活支援事業ってなに

津山自由民主倶楽部  
吉田耕造



**学習・生活支援事業**  
**問** 生活困窮家庭の学習・生活支援について、昨年実施された3中学校の内容、その成果と課題は。また、今年度の拡充スケジュールは。  
**答** 貧困の連鎖を防止する観点から、昨年度より、鶴山、北陵、中道中学校の希望する生徒を対象に、市内2か所の会場で学習支援や居場所づくりを実施している。実績は21名が在

籍し154回開催。利用者延べ657人である。今年度は市内全中学校に広げ、会場も市内中心部2か所に加え東西に2か所、合計4か所に増設し、定員を60名程度とする。さらに、会場に通えない生徒を対象に10名程度で訪問型の学習・生活支援を実施。拡充分の募集を7月から行い、夏休み明けの9月から実施したい。



【その他の質問項目】  
◆期日前投票所の変更について